

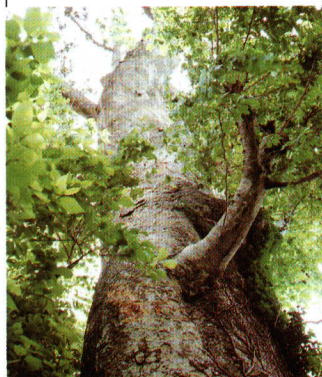
## 板宮神社境内のヒノキ

樹齡300年、高さ28mのヒノキの古木。板宮神社はかつて大山祇神玉津島明神を遷宮し、藤原朝臣四郎左エ門頼美公が白子産土神として勧請したもの。この老木は頼美公の御手植ともいわれています。



## 上松本稲荷神社のケヤキ

稲荷神社の境内には、神社を見守るように巨大な杉やケヤキが数本そびえています。中でもどつしりと幹をかまえるのが、樹齡300年、高さ28mのケヤキの古木。防風の役目も果たしています。



## 丹下のトチノキ

牛ヶ城跡の東方にそびえるトチノキの古木。この木は当時、この地の住民たちが植えたものといわれています。かつては若木だったろう木も現在では、田畑の中で悠々と枝を広げる巨木となっています。



## 稚児橋の松

推定樹齡300年の松並木は現在のもので3代目ぐらい。児渡之荘広戸郷の地名や下松本の地名もここから名付けられたそう。通りには藤原鎌足公の歌碑があります。

